

つちおと

1/18[Ⓟ]

～ 気仙沼中央IC 跨道橋架設工事開始！ ～

国道45号気仙沼バイパスを跨ぐ三陸沿岸道路の橋桁架設が1月18日より開始されました。

当該高架橋は気仙沼中央ICを構成することとなり、気仙沼中央IC～（仮）気仙沼港ICの供用と併せて通行が可能となります。

橋長約80mのうち国道45号を跨ぐ部分の工事は、国道45号を夜間通行止めに行われました。橋桁5本の架設が3日間行われ、引き続き桁下に足場や落下物防止板が設置され、夜間通行止めでの工事は26日早朝に終了しました。

今後、年度内に、橋桁接続部の塗装が行われます。橋桁の色は海をイメージした青系となっております。

工事は平成31年度内の供用を目指し進められており、来年度以降は床版や舗装の工事が行われる予定です。

大谷海岸IC～気仙沼中央ICの供用も3月25日と発表されました。着実に三陸沿岸道路が延伸しております。

2/15[Ⓟ]

～ 「復興・創生インターン」 春期オリエンテーション！ ～



2月15日「復興・創生インターン（春期）」気仙沼ブロックのオリエンテーションが行なわれました。

参加学生は、各自のプロジェクトや目標発表に真剣に耳を傾け、交流を深めるとともに今後一ヶ月間の取組みへの決意を新たにしました。

～ 進む震災復興【気仙沼市魚市場】 ～

東日本大震災では、魚市場の荷捌き場天井付近まで津波が到達し、建物2階が浸水、C棟は土地が洗掘、D棟は倒壊・流失するという被害を受けました。

被災後、平成23年4月には壊滅的な被害を免れた北棟及びA・B棟の災害復旧工事が開始、6月23日に魚市場が再開、平成25年7月に災害復旧工事が完了致しました。

一方、壊滅的な被害を受けたC棟以南の施設については、水産庁により策定された高度衛生管理基本計画に基づく衛生的な施設として、新たに整備しているところです。



全景写真：手前がCD棟、奥がE棟

CD・E棟の工事は平成28年1月に着手され、CD棟の完成は平成30年5月末を、E棟の完成は平成30年10月末を目途に進めています。

CD棟は奥行を約45mに拡幅。その南側にE棟(長さ：135m×奥行：45m)を新たに構築。浄化施設は震災前より面積を拡張し、E棟南側に再構築しております。

新たに建設されるCD・E棟は高度衛生管理に配慮した施設であり、『閉鎖型荷捌所』を配置した他、『人の入場管理』『魚体の床面への直置き禁止』『電動フォークリフトの導入による排ガス防止』などを予定しています。また現在、将来的なHACCP※1 認定取得を見据えた衛生品質管理基準の検討を行っているところです。



PCコンクリート部材で組み立てられている施設

観光面でも活用が期待されております。CD棟では吹き抜け部より見学が可能となり、E棟には専用の見学スペースが設置されます。また、CD棟にはクッキングスタジオが設けられ、魚食普及のための料理教室やクッキングツアー、料理コンテスト等、様々な場面で利用方法が想定されているところです。

水産振興センターをCD棟2階に合築し、更に体験施設や映像、展示スペース等を通じて水産業の情報発信を実施していくことも検討中です。

工事等で苦勞した点を気仙沼市水産課及び水産基盤整備課よりお話を頂きました。

『建物の工事中であっても水揚げを中止することはできない。気仙沼漁業協同組合をはじめとする魚市場関係者と話し合いを重ね、船の停泊位置等を調整した他、水揚げ終了後の午後から工事を実施したケースもあった。また、品質向上や労働力不足対策のため、現場でコンクリートを打設するのではなく、工場でPCコンクリート部材を作成し、現場で組み立てる方式で建物を構築した。今後は高度衛生管理への対応に伴い、魚市場の利用方法の変更等が生じることから関係者の共通認識の基に取組むことが大切である。』とお話を頂きました。



高度衛生管理化される施設内部の工事状況

※1：HACCPとは、食品の安全性について、製造工程中に危険防止に繋がる重要管理点をリアルタイムで管理・記録していく国際的に認められたシステム

1/24水

～ 向洋高校旧校舎 保存工事 着工！ ～



震災遺構（仮称）震災伝承館イメージ図

気仙沼市波路上地区の気仙沼向洋高校跡地で、向洋高校旧校舎を気仙沼市の震災遺構として保存する工事と「被災した岩井崎プロムナードセンターと（仮称）津波伝承館」を合築整備する建設工事の安全祈願祭が1月24日に行われました。

菅原茂気仙沼市長は、あいさつの中で「この施設は、東日本大震災にあった私たちが日本中の方々に復興を伝え、さらには将来世代の皆さんに私たちの経験を伝えて、多くの方々に防災を学んでいただく意味がある。」と建設の意義を話しています。

震災遺構保存整備工事は、10月31日までの工期で、津波の被害を受けた南校舎、北校舎、総合実習棟、生徒会館及び屋内運動場の5棟が対象で、南校舎と北校舎の2棟は一部を一般公開可能な状態に整備し、その他3棟は外観見学用として整備されます。



保存する南校舎3階（津波で流れ込んだ車両）

岩井崎プロムナードセンター災害復旧及び（仮称）震災伝承館新築工事は、12月28日までの工期で、映像シアター、震災展示室、体験・交流ホール、多目的室等を整備するものです。

震災遺構、震災伝承館などの総事業費は約11億8,600万円で、復興交付金などが充てられます。

供用開始は来年3月の予定です。

◆支所長コラム

今冬は日本海側で記録的な大雪に見舞われました。太平洋側でも雪をもたらす南岸低気圧が度々発生しており、春が待ち遠しい限りです。

さて2月にはピョンチャンオリンピックが開幕しました。宮城出身の羽生選手が、怪我を克服し2大会連続で金メダルを獲得！！被災地にも勇気と感動を与えてくれました。一流選手の怪我の具合を勝手に心配していた私自身はというと、風邪をひいてしまいました。そんな自分を情けなく思いながら、テレビの中で活躍する選手を応援するありさまでした。ああ～情けない。

インフルエンザも猛威を振るっているようです。くれぐれも健康管理にはご留意下さい。（吉）

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【3月4日（日）】唐桑おさんけウォーク【気仙沼市】

地域の神社をまわる、唐桑の人々に伝わる「お参詣」という風習をテーマとしたウォーキングコースを、ガイドと歩くイベントの第2回。ガイド、保険料、昼食代込み1500円。お申し込みは唐桑町観光協会（0226-32-3029）まで。

【3月3日（土）～11日（日）】シルクフラワーフェスタ【南三陸町】

仙台藩養蚕発祥の地として栄えた往時を偲ばせるひころの里。「シルク館」にて、まゆ加工作品の展示・即売会が行われます。時間は9時半～15時、3日のみ「ひなまつりお茶っ子会」（10～14時）も開かれます。

【3月24日（土）～25日（日）】東北風土マラソン&フェスティバル2018【登米市】

ランナーやボランティアの申し込みは終了していますが、走らなくても楽しいのが風土マラソン！「登米フードフェスティバル」「東北日本酒フェスティバル」も同時開催。宿泊ツアーもありますので、詳細はHP（<http://tohokumarathon.com/>）まで。

【編集後記】

◆下戸なもので日本酒やワインを買っても余りがちなので料理に使うのですが、気仙沼ホルモンを酒蒸しにすると、自宅のキッチンでも煙にまかれることなく味噌ニンニクの風味を楽しめるので気に入っています。

気仙沼支所の

今月のベストショット

Best★Shot

大川の川原が公園になっているんだ。
川のせせらぎを聞きながら、水鳥を眺め、
ゆっくりと時間を過ごす事ができるよ。
駐車場もあるから、夏にはバーベキューを
楽しむ人もいるみたい。

気仙沼 大川せせらぎ公園



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ┆
- ②宮城復興局
- ┆
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>